

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

令和5(2023)年度分

日独共同大学院プログラム
(Japanese-German Graduate
Externship)

受付番号 (記入不要)	
合議審査区分	(例)人文学
書面審査区分 番号・名称	(例)11・思想、芸術およびその関連分野

※上記区分についてはウェブサイトに掲載の「審査区分表」を参照してください。

1. 申請プロジェクト名等

プロジェクト名 (和文)(40字以内)				
(英文)				
実施期間	年	月	日	～ 年 月 日
申請経費総額(単位:千円) 千円未満は切り捨てる				千円
日本側構成員数	教員等(コーディネーター含む)	名	大学院学生	名
ドイツ側構成員数	教員等(コーディネーター含む)	名	大学院学生	名

【申請大学(研究科)名等】

大学(研究科)名(和文)

(英文)

大学(研究科)長氏名(実施組織代表者)

【日本側コーディネーター】

フリガナ(姓) (名)

氏名(漢字)

ローマ字(姓) (名)

最終学位 (専門分野)

所属大学・職

大学名(和文)

(英文)

研究科名(和文)

(英文)

職名(和文) 1. 教授 2. 准教授 3. 講師 4. 助教 5. その他()

(英文)

Email

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

【ドイツ側申請大学(研究科)名等】

大学(研究科)名(和文)

(英文)

大学(研究科)長氏名

【ドイツ側コーディネーター】

(ファミリーネーム)

(ファーストネーム)

(ミドルネーム)

氏名(英文)

所属大学・職

大学名(英文)

(和文)

研究科名(英文)

(和文)

職名(英文)

(和文)

所在地(都市名)

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

2. 日本側大学の概要

(1) 当該専攻又は専攻の組合せにおける教員数 (常勤のみ)

(各年度 5 月 1 日現在)

区 分	令和 2 (2020) 年 度	令和 3 (2021) 年 度	令和 4 (2022) 年 度	(備考)
教授	人	人	人	
准教授	人	人	人	
講師	人	人	人	
助教	人	人	人	

(2) 当該専攻又は専攻の組合せにおける在籍者数及び学位授与状況

(博士課程 3 年間 (一貫制の場合は博士後期課程)。医学、歯学、薬学及び獣医学の 4 年生博士課程についてはこれらに相当する 4 年間。)

区 分	令和元(2019)年 度	令和 2 (2020) 年 度	令和 3 (2021) 年 度	(備考)
博士後期課程 入学定員	人	人	人	
博士後期課程 入学者数	人(人)	人(人)	人(人)	
うち、他大学出身者数	人(人)	人(人)	人(人)	
博士後期課程 在籍者数	人(人)	人(人)	人(人)	
課程博士授与数	人(人)	人(人)	人(人)	
論文博士授与数	人(人)	人(人)	人(人)	

注. 1) 右側の () は内数で外国人留学生数

2) 博士後期課程 在籍者数は、各年度 5 月 1 日現在

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

【日本側教員等】 名 (日本側コーディネーターを除く。)

氏名 (フリガナ)	職名	学位	所属専攻名・専門分野

【日本側大学院学生 (令和5 (2023) 年度)】 名 (特定できない場合は参加予定者数のみでも可)

氏名 (フリガナ)	所属専攻名・専門分野

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

3. ドイツ側大学の概要

(1) 当該専攻又は専攻の組み合わせにおける教員数 (常勤のみ)

(月 日現在)

区 分	令和 2 (2020) 年 度	令和 3 (2021) 年 度	令和 4 (2022) 年 度	(備考)
教授	人	人	人	
准教授	人	人	人	
その他の教員	人	人	人	

(2) 当該専攻又は専攻の組み合わせにおける在籍者数及び学位授与状況

(月 日現在)

区 分	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度	(備考)
博士課程入学者数	人(人)	人(人)	人(人)	
博士課程在籍者数	人(人)	人(人)	人(人)	
博士授与数	人(人)	人(人)	人(人)	

注. 右側の () は内数で外国人留学生数

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

【ドイツ側教員等】 名 (ドイツ側コーディネーターを除く。)

氏名	職名	学位	所属専攻名・専門分野

【ドイツ側大学院学生 (令和5(2023)年度)】 名 (特定できない場合は参加予定者数のみでも可)

氏名	所属専攻名・専門分野

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

4. プロジェクトの内容

プロジェクトの目的、構築する国際共同学位プログラム等、プロジェクトの内容など、次の項目について3頁以内で具体的に記載してください。

- (1) 該当する研究分野及び申請大学における大学院の教育研究の現状とその課題を踏まえた、プロジェクトの必要性及び当該大学における位置付け。
- (2) 該当する研究分野の国内外における動向及び研究者育成における課題を踏まえた、当該研究分野でドイツと共同で教育研究を行うことの意義。
- (3) 国際共同学位プログラムの構築、共同教育課程（カリキュラム）の編成などの具体的な取組（修了要件、単位認定の考え方を含む）。
- (4) 日独共同の教育研究体制（概念図、日独のコーディネーター及び教員等の役割を明記）。

プロジェクトの目的、内容など (つづき)

Blank area for project details.

プロジェクトの目的、内容など (つづき)

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

5. プロジェクトの準備状況

プロジェクトの準備状況など、次の項目について2頁以内で具体的に記載してください。

- (1) 日本側及びドイツ側大学の専攻の特色（独自性、多様性、国際競争力等）。
- (2) 共同教育研究の実績（当該大学間又はそれぞれの教員等による、これまでの共同研究、教育研究交流の実績）。
- (3) ドイツ側大学との連携理由。
- (4) 日独相互の受入体制（裏付けとなる協定等の写しを添付）。
 - ① 共同学位の授与、単位互換、授業料不徴収等の制度、教育研究設備（実験室等）の準備状況。
 - ② 宿舎等の整備状況・提供可能性、研究室・事務組織における英語の通用度、メンター制度の準備状況。

プロジェクトの準備状況など (つづき)

Blank area for project preparation status.

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

6. 実施期間における目標、将来構想

実施期間における目標及び日独共同教育研究体制の将来構想など、次の項目について 1 頁以内 で具体的に記載してください。

- (1) 「4. プロジェクトの目的・重要性」を踏まえた、本事業による経費支給期間（最長 5 年間）終了時の達成目標。
- (2) 本事業終了後に期待される成果（質の高い博士論文への貢献等）。
- (3) 本事業終了後の日独共同教育研究体制の将来構想。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

7. 実施計画

年次計画（大学院学生及び教員等の派遣・受入、セミナーの開催）について、具体的かつ「経費（様式1別紙）」との関連性が分かる形で記載してください。

【1年目】

【2年目】

【3年目】

【4年目】

【5年目】

【6年目】

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

8. 日本側コーディネーターの教育研究業績等

日本側コーディネーターの教育研究業績など、次の項目について、1頁以内で記載してください。

- (1) 教育・研究歴。
- (2) 本プロジェクトに関連する分野での教育研究業績。
- (3) これまでの国際的な研究交流活動（本会事業に限らない。）の実績（見込みを含む）と本プロジェクトとの関連性。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

(4) 研究業績について、最近5か年を中心に、コーディネーターが中心的な役割を果たしたもののみ以下の項目に区分して1頁以内で記載してください。

(a) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文又は著書（「査読の有無」を区分して記載すること。査読の有無に関わらず、印刷済又は採録決定済のものに限る。査読中・投稿中のものは除く。）

著書（著者全員の氏名を、論文と同一の順番に記載）、題名、掲載誌名、巻号、開始頁－最終頁、発行年（西暦）をこの順で記載すること。

(b) 学会・シンポジウム等における発表（「査読の有無」を区分して記載すること）

発表者（発表者全員の氏名を記載）、発表標題、学会等名、開催国名、口頭・ポスターの形式、発表年月を記載すること。

(c) 受賞歴や学協会における役職等については、受賞歴、学協会名、役職名、該当年等を記載すること。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

9. 日本側教員等の教育研究業績 (コーディネーターを除く。)

教員ごとに研究業績、教育業績別に1頁以内で記載してください。研究業績については、最近5か年に発表した主な学術研究論文・図書について、教員一人につき5件以内で、発表年次の順に記載してください。また、教育業績については、学内外の活動を問わず、参考になる事例があれば記載してください。日本側教員等の数が多い場合は、中核となる教員を抽出して記載してください。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

10. 他制度での助成等の有無

※ 申請大学が他制度で機関支援型事業^{注)}の助成を受けている(又は受ける見込みの)場合、全て記載の上、今回申請するプロジェクトと関連性がある場合は、本事業との相違点を明確にしてください。他制度で既に支援を受けている活動に対して、本事業により重複して支援することは致しません。

申請大学が受けている(あるいは申請している)機関支援型事業の助成について、本プロジェクトとの相違点を明確にした上で、1頁以内で記載してください。

注) 機関支援型事業とは、研究者個人に交付する研究費等ではなく、研究機関に対して助成する事業です。「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」、「大学の世界展開力強化事業」等が挙げられます。また、本会国際交流事業の中では、「日独共同大学院プログラム」、「研究拠点形成事業」、「日中韓フォーサイト事業」が該当します。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

1 1. 人権の保護及び法令等の遵守への対応

本欄には、研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策や措置を講じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続きの状況も具体的に記述してください。

- ①該当あり () 該当がある場合には左記に○印を付した上、対応を下記に記入してください。
 ②該当なし () 該当がない場合には左記に○印を付してください。

1 2. 事務総括部・課の連絡先

※申請に係る事務連絡先となります。

事務総括部課名	
所在地	〒
責任者名 職名 電話番号 ファックス番号 Email	
担当者名 職名 電話番号 ファックス番号 Email	